

和庄中学校区小中一貫教育研究会

2月17日（月），和庄小学校にて和庄中学校区小中一貫教育研究会を開催しました。本中学校区が目指す「主体的に学び，思考を働かせ表現する児童生徒の育成」を意識した，考える授業を公開しました。児童たちは思考を深めながら友達と意見を交換し，自分の考えを再構築する姿が見られました。

授業後は，2つの部会に分かれて協議を行い，その後の全体会では，広島文教大学教授の今崎浩先生に御講話をいただきました。

今後も和庄小学校区では，小中が連携しながら，9年間を通じた児童生徒の成長を意識し，共に取り組んでいきます。



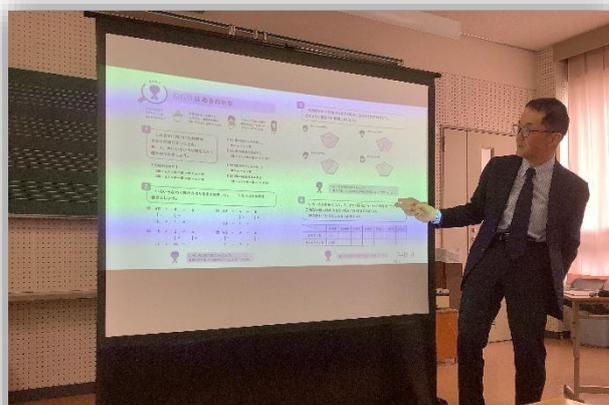
第2学年1組
生活科 「あしたへジャンプ」
～できるようになったこと・できていること～



第3学年2組
算数科 「小数」



研究協議会



講演 広島文教大学教育学部教授
今崎 浩先生

中学3年生 自己表現

広島県公立高等学校等入学者選抜では、自分自身を表現する「自己表現」が実施されています。この「自己表現」は、「広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力」である「自己を認識する力」「自分の人生を選択する力」「表現する力」がどの程度備わっているかを評価するためのものです。

2月6日（木）には、和庄中学校3年生による「自己表現発表会」が行われ、和庄小学校、本通小学校、長迫小学校の教員も参加しました。子供たちはタブレットやスケッチブックを活用するなど、それぞれが工夫した方法で、自分の将来の夢や中学校で頑張ってきたことを自分の言葉で語っていました。義務教育9年間の出口である中学3年生の姿を見ることで、小学校でもこの3つの力が付くように段階的に取り組んでいくことが大切だと改めて気付きました。

オープンスクール・乗り入れ授業

2月14日（金）に、6年生児童とその保護者を対象とした「新入生学校説明会」と「オープンスクール」が行われました。「新入生学校説明会」では、中学校での生活や今後の予定について説明があり、「オープンスクール」では授業やクラブ活動の様子を見学しました。

どの小学校の児童も、中学校生活への期待に胸を膨らませている様子が見られました。

また、6年生児童は今後、中学校の生徒指導担当教員から中学校生活や入学に向けた心構えについて話を聞く機会をもつほか、英語担当教員による英語の乗り入れ授業を体験する予定です。

今後も中学校入学に向けての不安が少しでも解消するよう、児童・生徒の成長を願いつつ、小中が連携して教育活動の充実を図っていきます。

